

JICA と滋賀大学

データサイエンス分野における連携に関する覚書を締結

独立行政法人国際協力機構（東京都千代田区、以下「JICA」とする。）と滋賀大学データサイエンス・AI イノベーション研究推進センター（滋賀県彦根市、以下「滋賀大学」とする。）は、10月4日（水）、JICAが協力を展開している開発途上国でのデータサイエンス分野の協働を目的として、連携に関する覚書を締結します。

具体的な連携活動の第一弾として、滋賀大学が開発したオンライン教材（日本語）をJICAが英語に翻訳し、ブータンで実施する現地の若者向けデータサイエンス講習で活用します。

【署名式】

日時：2023年10月4日（水）14：00～

場所：滋賀県庁 本館3階 会見場 滋賀県大津市京町四丁目1番1号

署名者：《滋賀大学》 センター長 笛田 薫（ふえだ かおる）

《JICA 関西》 所長 木村 出（きむら いづる）

（JICA側は、兵庫県神戸市に所在するJICA関西の所長が署名を行います。）

1. 連携の概要

滋賀大学では、2016年に日本初のデータサイエンスのための教育研究組織であるデータサイエンス教育研究センターを設立、その後も全国に先駆けてデータサイエンス学部、研究科を開設しました。2022年4月には「データサイエンス・AI イノベーション研究推進センター」を設立し、研究の社会実装化、先端研究の牽引、教育基盤の拡充、高度人材育成に取り組んでいます。「世界に開かれた大学」として国際的な教育・研究環境を構築、人材養成、研究、国際交流において、国際社会に貢献することを基本目標として掲げており、現在海外大学36校と協定を締結しています。また、同センターは、オンライン教材を開発し、gacco¹に「高校生のためのデータサイエ

¹ gacco（ガッコ）は、日本発の大規模公開オンライン講座（Massive Open Online Courses: MOOC）として開設。サービス大学教授陣による本格的な講義を、学生に限らず幅広い方がオンラインで無料受講できるサイト。（引用：

https://www.docomo.ne.jp/info/news_release/2014/02/03_00.html）

ス入門」や「大学生のためのデータサイエンス」等のコンテンツを提供するなど、デジタル化を支える人材育成にも取り組んでいます。

JICAは、開発途上国の課題解決のための20のグローバルアジェンダの1つとして「デジタル化の推進」を掲げており、開発途上国のデジタル化推進による課題解決と価値創出、その基盤整備として情報通信環境の整備、人材育成に取り組んでいます。特に、ブータンではデジタル化の推進を重要政策として位置付けており、デジタル化を支える人材の育成が急務となっています。ブータン政府は現在、若年層に対するデータサイエンス教育プログラムを作成しており、今回、JICAに協力の要望がありました。

このような背景を踏まえ、まずはブータンにおいて、滋賀大学が開発した「高校生のためのデータサイエンス入門」のコンテンツを活用し人材育成を図ること、また今後ブータンでの経験を活かし他の開発途上国においてもデータサイエンス分野での連携協力を進めていくこととなりました。

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 関西 開発大学院連携課
三浦真暉
TEL: 078-261-0341
e-mail: Miura.Maki@jica.go.jp

滋賀大学 データサイエンス・AI イノベーション研究推進センター
安井聡
TEL: 0749-27-1249
e-mail: ura@shiga-u.ac.jp

滋賀大学との共同リリースのため、重複して配信される場合がございますが、あらかじめご了承ください。